

銀山温泉の旅館群と
誰でも自由に利用できる足湯

排水・運搬・通路用に
掘られた疎水坑道

銀鈺洞內部

みちのく

ココロとカラダの癒し旅

山形県尾花沢市 銀山温泉 古山閣

温泉街は大正ロマンの世界

東北の人気温泉地として必ず名前が出てくるのが山形県の銀山温泉だ。銀山川という細い川の流れの両側に木造三階建て四階建ての温

端緒になつてゐる。銀山自体の繁栄はそう長くは続かなかつたようだが、焼き掘りと呼ばれる独特の採掘方法がとられた坑道の一部が今まで温泉街の奥に残されていて無料で見学することができる(冬期間はク

風情と快適さの二つの魅力

泉旅館が肩を寄せ合うように建ち並ぶ景観は、とてもノスタルジックで、旅人の旅情をおおいにかき立てる。銀山温泉にこんにちの景観の原形が形成されたのは大正年間のことと、現在は鉄筋コンクリートやモダンな造形の宿もないではないが、全体としては往時の旅館街のたたずまいを非常に良くとどめていて、大正ロマンの情緒漂う温泉という呼び名は、まったく大げさではない。ガス灯が灯る黄昏時の風情はひとしおで、旅館街のあちこちで記念写真を撮る泊まり客のラッシュが明滅するのだ。

銀山温泉は、その名の通り、江戸時代に栄えた延沢銀山の開発が

当主が十八代目という銀山温泉の老舗旅館の一軒、古山閣は、延沢銀山全盛期に北陸地方から移入し、当初は造り酒屋を営んでいた。銀山の衰退とともに湯治宿の経営に移り、大正二年に当地を襲つた大洪水を契機に旅館街全体の建て替え気運が高まり、古山閣もそのころに現在の建物の原形が出来上がつた。造り酒屋という商家としての前身を持つこともあつてか、古山閣は古い建物でありながら建築材に厚い板



離れ蔵座敷の部屋。むき出しの
梁(はり)が魅力



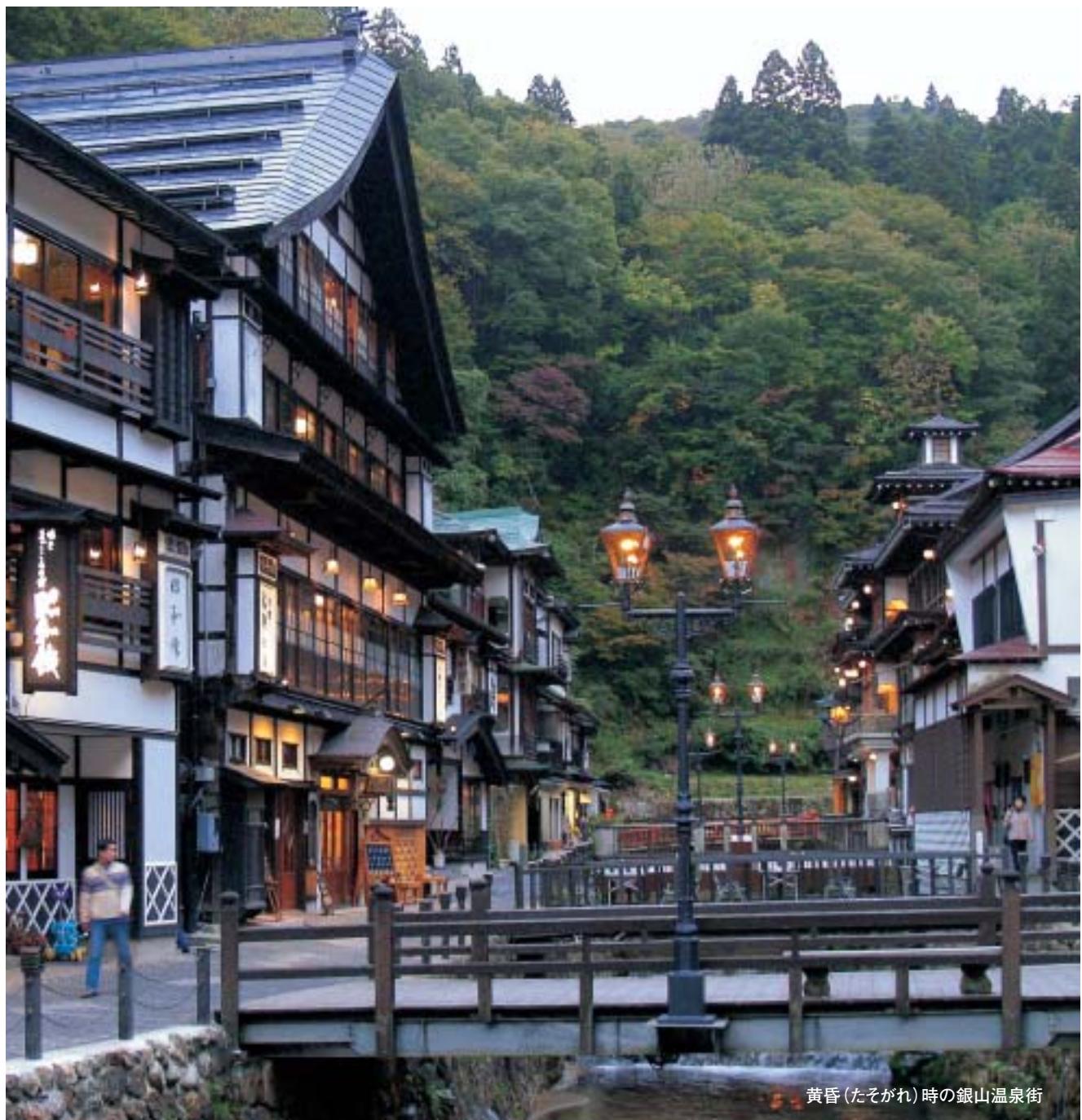
客室「招福」。折り上げ格天井(ごうてんじょう)が
風格と歴史をしのばせる



館内はどっしりと重厚な
雰囲気



巨木から伐り出されたテーブルが
圧巻なロビー



黄昏(たそがれ)時の銀山温泉街



レトロな電話機も内線電話で現役中



看板の「内湯」の文字は、外湯が当たり前だった時代に内湯付きをPRしたもの



多層階木造建築が見事な古山閣



▲木づくりの女性用浴場
◀無料で利用できる貸切露天風呂が2つある



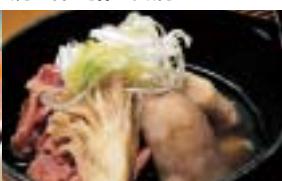
尾花沢牛のしゃぶしゃぶ



焼き物は鰻の白焼き



岩魚の姿造り



山形名物の芋煮

材や太い柱が用いられ、全体としてとても重厚な印象を受ける。そのような、古き良き木造日本旅館のノスタルジーと、シャワートイレを完備するなど近代的な宿泊施設としての快適性の両面を兼ね備えていて、和風温泉旅館に泊まるという醍醐味を存分に満喫させてくれる。手づくり感あふれるおいしい料理や、宿で働く人たちの素朴で飾らない親しみのある対応も心地よい。

風呂は石づくりの男性用浴場と木づくりの女性用浴場があり、それとは別に無料で利用できる露天の貸切風呂も二つある。部屋付き専用風呂と同じ感覚で旅の同伴者とゆっくりと入浴を楽しめる心憎いサービスだ。

魅力創出に熱心な温泉郷

銀山温泉の湯は、胃腸病や神経痛によく効く湯としてかつては長逗留する湯治客が多く、戦後間もないころは相部屋も当たり前で整理券も配らなければならぬほど活況だったそうだ。部屋数の少ない旅館が多いので、団体旅行全盛時代にはやや忘れられかけたこともあったようだが、個人旅行

銀山温泉の湯は、胃腸病や神経痛によく効く湯としてかつては長逗留する湯治客が多く、戦後間もないころは相部屋も当たり前で整理券も配らなければならぬほど活況だったそうだ。部屋数の少ない旅館が多いので、団体旅行全盛時代にはやや忘れられかけたことも

(文写真=かとう・りゆう(秋田市)

の時代に移って、人の心を和ませる銀山温泉のたたずまいは、再び脚光を浴びることになった。温泉街としても「家並保存条例」を制定して率先して景観保全に取り組み、電線の地中化、路面の石畳化、足湯の整備、ガス灯の設置など、温泉街全体の魅力を高めるために精力的に行動してきた。ガス灯に至っては、当初は“ガス灯風の電灯”という案もあったが、先えて本物のガス灯にこだわったそうだ。

銀山温泉にほど近い大石田という町は、最上川の舟運時代からの伝統的な職人町で、銀山温泉の旅館建築にも大石田の船大工たちの技が遺憾なく發揮されているようだ。言われてみれば、古山閣のとてもかつかりとした造りにも、船大工の仕事らしさが感じられるのである。大石田は伝統的に錆絵(こてえ)職人の町でもあったそうで、古山閣の軒を飾る大石田錆絵のひとつひとつを見るのも楽しい。

「タイムスリップしたような…」といふフレーズがあるが、銀山温泉は、まさしく大正時代にタイムスリップしたような感覚にさせてくれる夢見心地の温泉郷だ。雪景色の中の温泉街も味わい深い。

ガス灯が灯る温泉街





古山閣の軒には季節の風物を描いた錦絵(こてえ)が並んでいる

K O Z A N K A K U

施設のご案内

- 木造4階建(防火・防災設備完備)
- 客室 和室12室
- 宿泊人員50名様
- 離れ蔵座敷 3部屋
- 大・小宴会場
- 浴室 男・女各1
- 貸切露天風呂2
- 駐車場完備

お一人様 1泊2食付き

13,800円より (税・サ込)

Map



温泉街のはずれにある「しろがね湯」は著名建築家の手によるモダンな共同浴場



温泉街奥の散策コースにある白銀の滝

山形県・銀山温泉
日本観光旅館連盟会員
日本木造の宿を守る会会員
古山閣
〒999-4333
山形県尾花沢市銀山温泉
TEL.0237-28-2039
Fax.0237-28-2037

